

見えないコロナウイルス でも見えてきた経済への影響

世界ではこれまでに経験したことのない大規模な都市封鎖が行われ、人々の移動や経済活動は止まっています。感染防止の観点から、津南町でも経済活動の自粛を余儀なくされています。

経済活動が制限されている
ことでどれくらい影響があるのか

コロナウイルスによる影響は様々なところに出てきていると感じますが、「影響がある」の一言で済ますのではなく、より具体的にどういった影響があるのか。今回の影響をもっとも受けた宿泊業の中で、実際にニュー・グリーンピア津南（以下NGP津南）さんに協力いただき可視化し、昨年の3月4月期と今年の同時期について比較してみました。

ここで注目いただきたい点が2つあります。1つ目は、燃料や食料など経費の約半分は町内から仕入れを行っていること。そして2つ目はその関係業者が実に40社にのぼるといふ点です。

特に、緊急事態宣言が発令された4月は1か月間休館したため、経費もほぼ0円でした。すなわち見方を変えると、町内の業者さんにとっても、まったくNG

地域経済循環マップで 経済の流れを大まかに把握

図2をご覧ください。これは地域経済分析システム（RESAS）という政府が経済産業省と共同して開発したもので、市町村レベルで経済の流れがおおまかに分かる優れたツールです。どなたでも利用できます。興味のあるかたはぜひHPをご覧ください。この図によると平均して86.8%がまた町内にお金が回り、残りは町の外へ出て行ってしまう。ということを表しています。

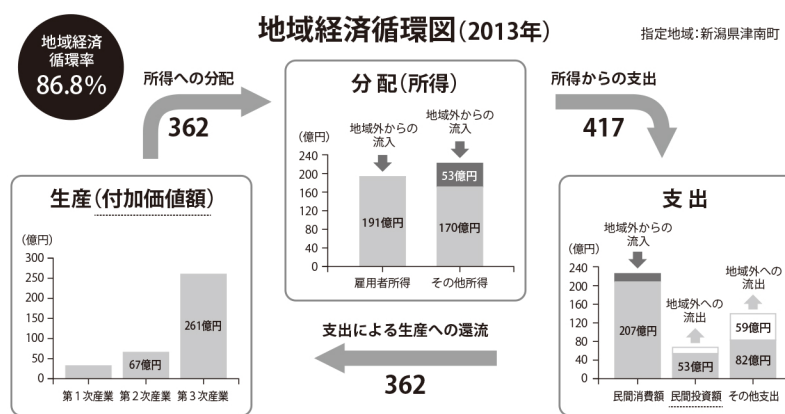
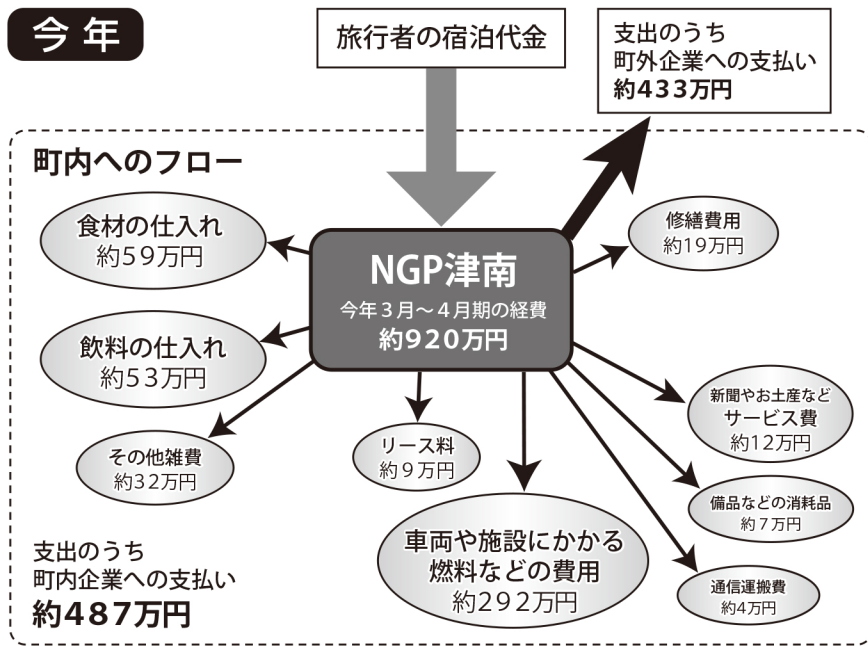
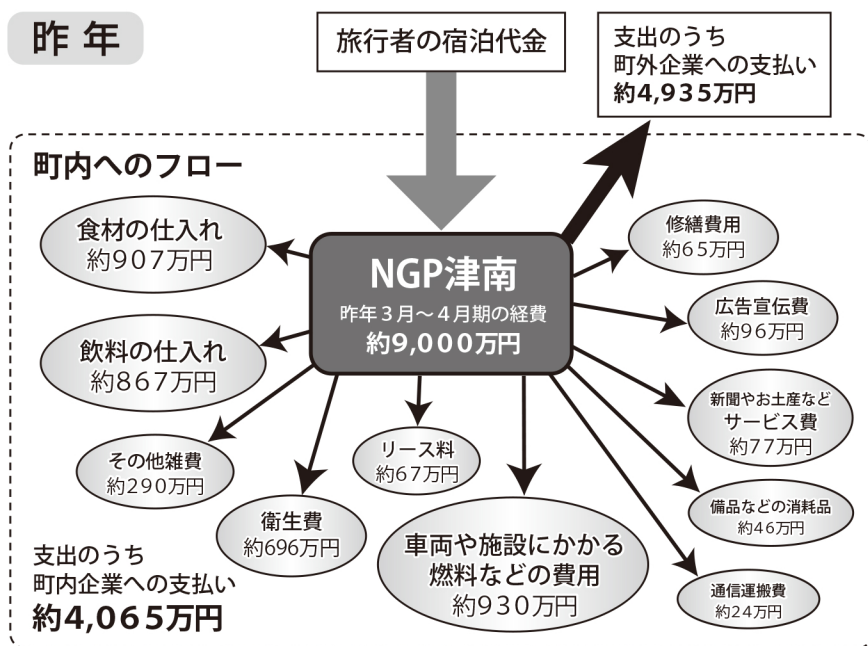


図2 地域経済循環図 グラフ - RESAS 地域経済分析システム

〈図1〉宿泊にかかる経費の相関図 (※ただし人件費は含まず)



この図を基に、NGP津南から支払われたお金が再び津南の中を循環する金額について計算をしてみました。

経済波及効果 算出式

- 域内経済循環率 86.8% (2013年)
- 町内への経済損失額 (図1より)
4,065万円 - 487万円 = 3,578万円
- そのうち町内へ循環する額
3,578万円 × 86.8% = 約3,105万円
- そのお金がさらに町内へ循環する額
3,105万円 × 86.8% = 約2,695万円
- 3,578 + 3,105 + 2,695 = 9,378万円の経済損失 (地域内乗数効果) があるといえます。

つまり、NGP津南ひとつを例にとっても、たった2か月で、しかも人件費を含めれば1億円を超える額が、町内にお金がまわるはずだったものが、経済損失となってしまうのです。

また、こういった宿泊にかかる経済損失だけでなく、町内の飲食店からも「まさかこれほど売り上げが落ちるとは。こんなにも町外からのお客さんが多かったという事が改めてよく分かった」といった声も聞かれました。同じく上の式に当てはめて考えれば損失が損失を生んでいる。というのをご理解いただけるのではないのでしょうか。

出前・テイクアウト プロジェクト～第一弾～

3つの密を避けて
※密閉空間
※密集場所
※密着接触

多くの人が宴会や日頃の夕食を自粛する中で、飲食店への客足が落ち込み、存続の危機に追い込まれています。大好きなあの味を救えるのは、毎日のあなたの食事です。地元を守るため、おうちでおいしくしっかり食べて応援しましょう!

食べて応援! お店の味をおうちで

#津南エール飯

あなたの投稿が、お店の応援に、町の力になる。

テイクアウトでお店を応援!
合言葉は「津南エール飯」

各飲食店では、3つの密を避けるため、また県の休業要請に従い、店内での飲食を見合わせるお店がほとんどでした。その代わり、お店の味を手軽にお家で楽しめるテイクアウト(持ち帰り)や出前を始めた、持ち帰りメニューを開発するなど工夫しています。

そんな飲食店の取り組みを応援する企画、それが4月20日号の広報紙と一緒に配布した「#津南エール飯」企画です。津南町も各飲食店はどういった料理を持ち帰りができるのか。あるいははされているのか。をSNSに「#(ハッシュタグ)」付きで投稿することにより、情報を拡散

「#津南エール飯」で検索!

↑QRコードを読み込んでください。

コロナ禍の影響を調べていく過程で、観光の裾野の広さが見えてきました。逆にいえば、観光を使って地域を元気にするという観光地域づくりの意義を再認識することとなりました。こうした状況を踏まえて、津南町の地域経済を元気にするために、観光に何ができるのか、DMO推進室として考えています。

町も新制度や事業者のニーズを把握し、安心できる支援策を講じていきます。観光地域づくり課までご相談ください。

観光地域づくり課
TEL 765-5454

P津南の売り上げが発生しなかった。ということになります。昨年と今年の3月4月分を比べるとその額は約三千五百万円。つまりは町内にそれだけのお金が落ちなかった。ということになります。

ですが、経済損失という意味では、これで終わりではありません。これはあくまでも、NGP津南と仕入れの関係にある町内の事業者の間だけの話です。その事業者がさらに取引先として原材料などを町内で調達している場合は、さらにその下にいる事業者へもお金が流れないこととなります。今回は規模が大きいことだけに、町内のさまざまな企業や個人のみならずにも影響が出ています。(4月号のアンケートの結果をご覧ください。)

どれくらい経済損失があるかを客観的に推し量る指標に「域内循環率」というものがあります。次頁をご覧ください。

を町内で調達している場合は、さらにその下にいる事業者へもお金が流れないこととなります。今回は規模が大きいことだけに、町内のさまざまな企業や個人のみならずにも影響が出ています。(4月号のアンケートの結果をご覧ください。)

どれくらい経済損失があるかを客観的に推し量る指標に「域内循環率」というものがあります。次頁をご覧ください。